

講義名	オ)憲法		
担当教員	真田 総一郎		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 3時限	授業形態	講義
履修開始年次	1年生	単位数	2
主題と概要			
義務教育や高等教育において、憲法の重要性(立憲主義)や日本国憲法の三大原理(国民主権、平和主義、基本的人権の尊重)について学ぶものの、そもそも「憲法」とは何か、何のために、どのようなことが憲法に定められているのかについて深く学ぶことは非常にまれである。学生が、日本国憲法の意義、内容の基礎を理解・修得することを、本講義の主題とする。授業の概要としては、日本国憲法の基本原則についての解説となる。そして、この日本国憲法は、大きく分けて、統治機構論と人権論とに分けられるが、このそれぞれについて、憲法の条文上如何に規定され、そして実際に如何に具体化されているかについて解説する。とりわけ人権論については実際の判例をもとにしながら、解説を行う。			
到達目標			
日本国憲法の基本原理、統治機構の仕組み、そして、人権問題が現実の裁判でいかに処理されているかを自分の言葉で説明できるようになり、このような知見に基づいて、現実の社会問題を憲法学の観点から分析することができるようになること。			
提出課題			
ウェブシステムを利用して、確認テストを複数回実施する。			
課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック			
解答と簡単な解説をウェブシステムを通じてアップする。			
評価の基準			
上記の確認テストの合計点で持って成績評価を行う。			
履修にあたっての注意・助言他			
この授業は、遠隔授業(オンデマンド方式)にて実施する。			

教科書				
.スタディ憲法.	曾我部真裕、横山真紀	法律文化社	2750	978-4-589-03917-0
プリント資料及び参考文献				
レジュメ資料をウェブシステムを利用して配布する。				
授業計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション、憲法総論 2.憲法史・平和主義 3.国民主権・天皇制・憲法改正 4.国会 5.内閣 6.裁判所 7.地方自治 8.人権総論 9.幸福追求権 10.平等権 11.精神的自由 12.経済的自由 13.社会権 14.参政権 15.復習とまとめ 				
授業形態(アクティブ・ラーニング)				
	ア:PBL(課題解決型学習)		イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)	
	ウ:ディスカッション、ディベート		エ:グループワーク	
	オ:プレゼンテーション		カ:実習、フィールドワーク	
	キ:その他(A/L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)			
準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間				
予習として教科書の該当箇所を読み、その概要を掴んだ上で、疑問点をまとめておく(2時間)。そして、復習として、教科書とレジュメを読み合わせた上で、授業内容を自分の中で整理し、まとめておく(2時間)。				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
<p>流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力</p> <p>(1)知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材</p> <p>課題発見・課題解決に必要な情報を発見し、適切な手段を用いて収集・調査、整理することができる(情報収集力)</p> <p>収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握することができる(情報分析力)</p> <p>現象や事象のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定することができる(課題発見力)</p> <p>さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、課題の解決に向けた道筋や採取りを明らかにした上で、具体化することができる(構想力)</p>				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
なし				
実務経験の有無及び活用				
なし				
備考				